

令和7年度 山県市立伊自良北小学校 学校経営全体構想

第4次県教育ビジョン
・自立力・共生力・創造力
・「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

学校の教育目標

かしこくて あたたかくて たくましい子

第3次山県市教育振興基本計画
すべての子どもが「成長」を実感する教育の展開
・実体験で得た感性や経験知を基に「自分の正解」を粘り強く表現する力の育成。
・違うことをしていても一緒にいられる学習空間をつくり、個別最適な学びと協働的な学びを構築する。

<児童の実態>

- 明るくおだやか ○まじめに役割を果たす
- 全校仲良く活動できる
- ・自己の考えを表出することはできる。互いの意見を比較する、問いに対して粘り強く取り組むなど、主体的に学びに向かう姿を高める。
- ・夢や目標をもち努力すること、自己有用感・自己効力感の向上。

めざす児童の姿「たくましさやさしさをもち、夢に向かって輝く」

- ・自分の考えをもち、相手にわかりやすく伝えることができる子
- ・相手の立場や考えを尊重し、多様な人々と協働できる子

・自ら学ぶ子

「学びに向かう力を身に付けた子」
「教科の見方・考え方を身に付けた子」

・進んで関わる子

「豊かな人間関係を築く子」
「人や社会に貢献することに喜びを感じる子」

・自ら鍛える子

「困難から逃げないで挑戦する子」
「自分たちでやりぬく子」

考えが深まる学びづくり

●個で追究、仲間と協働で深い学びの創造

- ・多様な見方・考え方を育てる指導（アウトプットの場合、協働学習の場合、自己選択の場合を取り入れる）
- ・学びを振り返り、次に活かす力の育成（ノート作り）赤ペン先生
- ・「もっとやりたい」の時間の確保（個の伸長、自由進度学習）
- ・他校や中学校との合同授業

○学習効果を高める学習形態の工夫（脱黒板）

- ・複式解消による基礎・基本的な内容の確実な定着（共通性の確保）
- ・複式授業「わたり」と「ずらし」による自立した学習の定着（協働的な学びと自己効力感のUP）
- ・異年齢学習を通じた教え合い、学び合いの推進

○ICT機器を活用した、主体的な学習活動の工夫

- ・タブレット端末等の活用と児童のプレゼン能力の育成（自信）

●「ふるさと学習」の推進

- ・「十六拍子太鼓」の伝承。伊自良地域の歴史・文化の探究学習（総合的な学習の時間の整備）

あたたかい人間関係づくり

●自己有用感・自己効力感の向上

- ・「すてきな木」の取組。仲間からのよき見つけによる自己有用感、自己効力感を高める（家庭、地域、教師）
- ・ダ・ビンチタイム（異年齢集団による多様な意見の交流）
- ・SW-PBSの理念を取り入れた全校キャンペーンの実施

○道徳教育の充実

- ・4つの理解（価値・他者・人間・自己）を通じた授業実践の蓄積と、自分事として捉え、よりよく生きるための道徳性の涵養

●鋭い人権感覚と温かい居場所づくり

- ・いじめや差別を見抜き、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成（言葉遣い、アンケートの活用）
- ・掲示物等UDの環境づくり
- ・高齢者体験など各種機関と連携した体験活動から多様性を学ぶ
- ・ボランティア活動の推進（花づくり）
- ・「いつでも・どこでも・だれとでも」地域と連携したあいさつの輪

たくましい心と健康づくり

●体験を通して自己実現の喜びを実感する指導（アントレプレナー教育）

- ・銀杏販売（企画会、商品準備、広報・販売活動、振り返り等、内容の拡大）
- ・「地域を守る」防災学習の実施
- ・失敗から学び、次に活かす姿勢づくり
- ・日常の自立活動（給食・掃除・登下校）

○体力・運動能力の向上

- ・北小チャレンジタイムの計画的・意図的な推進
- ・外遊びの機会の保障

●児童の心に寄り添う指導の充実

- ・児童理解に徹し、認め励ます機会の保障。寄り添い続ける。全職員で対応
- ・「SOS」の出し方教育、教育相談の充実 SCの活用（全校児童のSC体験）

○望ましい生活習慣の確立

- ・個に応じた支援の充実（基本的生活習慣・食育・アレルギー対応）
- ・児童が主体となる歯と口の健康づくり

「安全で安心できる学校」

○児童の命を守りきる組織的体制づくり

- ・地域ぐるみの防災教育の推進
- ・自ら危険から身を守る力の育成、登下校の安全指導の徹底
- ・地域との連携の強化（スクールサポーターズ・小中連携）
- ・教員の高い危機管理意識・保護者との共通理解

○実効性のある「危機管理マニュアル」の見直しと職員の共通理解（自然災害・各種警報・熱中症・不審者対応等）

「地域とともにある学校」

○地域のよさや特色を受け継ぎ、ふるさとへの愛着と誇り、感謝と貢献の気持ちを育む「十六拍子太鼓」の充実

- ・地域貢献活動の推進
- ・自分たちの願いや工夫を活かした提案型の学習活動

○「総合的な学習の時間の指導計画」の地域との共有

- ふるさとをテーマにした教科横断的な教育課程の工夫（学年の枠を超えた教育課程）

教職員の合言葉：「チーム北」互いに理解をし、高まりのある組織人を目指す。報連相の徹底。

- ・教師としての感性を磨き信頼される教師集団を目指す。（礼儀・品格・期限厳守・挨拶・師弟同行・報連相）
- ・保護者や地域との信頼関係を何にもまして大切にする。
- ・伊自良三校の連携による教育活動と定期的な教職員研修を推進する。
- ・職員同士温かく支え合うとともに、互いの立場を尊重する職員集団をつくる。
- ・組織を生かした協働できる教師集団の育成と、業務のスリム化への絶え間ない取組を継続する。
- ・月45時間以内の時間外勤務の徹底を図る。